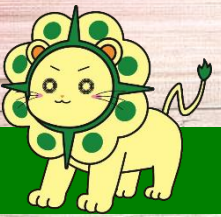


本年度の 学校経営について

校長 大津圭介

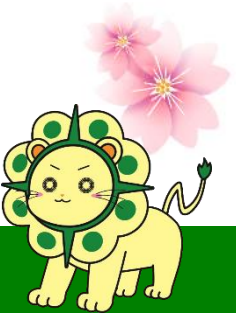


学校の教育目標

郷土を愛し、主体的・自律的に未来を切り拓いていく生徒の育成

地域の発展を担う人材

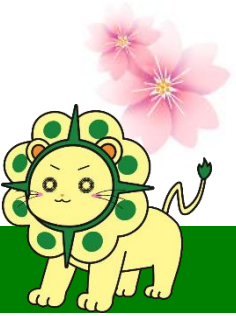
受け身ではなく、能動的な人材



学校の教育目標と目指す生徒像

郷土を愛し、主体的・自律的に未来を切り拓いていく生徒の育成

	設定理由(先生方の意見から)	目指す生徒像
【体】	健康だけでなく、感情、思考、行動を生徒がコントロールすることを願っている。	自己管理できる生徒
【徳】	生徒に多様性を受け入れ、集団としてのまとまりや共存することを求めている。	誰とでも協働できる生徒
【知】	自分から進んで学ぶ生徒を望んでいる。	探究心旺盛な生徒



本年度の重点目標

本年度の重点目標(生徒の問い)	本年度の経営の重点(教師の問い)
どうやれば、意欲や向上心を持ってやってみようとしたり、自分を信じて挑戦したりできるようになるのだろうか？	学習への意欲や自己実現への欲求を内から湧き上がらせ、生徒の学びに対する情熱を育むには、どうすればいいのだろうか？ (学びに向かう力の育成)
どうやれば、私たちには、学校や地域、社会に貢献・参画できるだろうか？	持続可能なコミュニティ・スクールの実現のために、何ができるだろうか？



今年 of 取組 of 核

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進」のためのICT、生成AIの活用

地域資源を活用した探究型の総合的な学習の時間への転換

教育課程内外で生徒が企画・運営で活躍できる場の提供



不登校兆候生徒	不登校生徒	うち復帰
59名	59名	35名

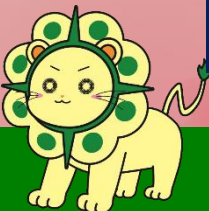
令和6年3月現在

令和6年1月時点の不登校出現率

本校	A中	B中	C中	D中	E中
8.19	8.32	4.40	8.14	3.17	5.11

特別支援学級(そよかぜ学級) が令和5年度8学級、
令和6年度9学級、令和7年度はさらに増加？

**教室にいるはずの生徒を取り残さず、生徒
に寄り添い支える教員・学校を目指します**



最後に

Anticipation: 見通しを立てる

Action: 実践する

Reflection: 振り返る

AARモデルでこれまでの当り前を見直すことに
果敢に挑戦する学校でありたい

